

東与賀まちづくり協議会だより

発行：東与賀まちづくり協議会

令和7年度東与賀まちづくり協議会定期総会を開催

5月24日(土)、令和7年度東与賀まちづくり協議会定期総会を東与賀農村環境改善センターで開催しました。北村一豊佐賀市東与賀支所長による来賓のご挨拶の後、樋口博氏を議長に選出し、議案の審議を行いました。

第1号議案 令和6年度東与賀まちづくり協議会事業報告について

第2号議案 令和6年度東与賀まちづくり協議会決算報告及び監査報告について

第3号議案 令和7年度東与賀まちづくり協議会事業計画(案)について

第4号議案 令和7年度東与賀まちづくり協議会収支予算(案)について

第5号議案 令和7年度役員改選(案)について

上記の議案について審議の結果、すべての議案が可決承認されました。なお、任期満了に伴う新役員が右表のとおり選任されました。

令和7年度東与賀まちづくり協議会役員

役	職	氏 名
会 長		重 松 徹
副 会 長		合 満 進
副 会 長		山 田 良 子
事務局 長 (会 計 兼 務)		彌 富 邦 彦
自 然 ・ 環 境 部 会 長		富 吉 玉 恵
自 然 ・ 環 境 副 部 会 長		北 村 守
安 全 ・ 安 心 部 会 長		内 田 好 秋
安 全 ・ 安 心 副 部 会 長		松 尾 美 鈴
子 ども の 育 成 部 会 長		山 田 邦 雄
子 ども の 育 成 副 部 会 長		小 路 丸 正 安
健 康 ・ 福 祉 部 会 長		坂 井 満
健 康 ・ 福 祉 副 部 会 長		田 中 美 小 夜
人 の つ な が り 部 会 長		碓 和 博
人 の つ な が り 副 部 会 長		吉 田 浩 子
地 域 の 活 性 化 部 会 長		山 田 和 由
地 域 の 活 性 化 副 部 会 長		石 丸 幸 子
監 事		松 尾 修
監 事		神 原 一 利



会長あいさつ

東与賀まちづくり協議会会長 重 松 徹

日頃からまちづくり協議会の運営については、地域住民の皆様をはじめ関係諸機関、各団体には格別のご支援とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

昨年度は、干潟周辺での「コスモスを咲かせよう運動」、公民館と連携した「子ども防災キャンプ」、小中学生の干潟体験学習、小学生による田植え・稲刈りなどの米づくり体験、また、認知症の方を支える「支え合いのまちづくりフォーラム」や健康料理教室、あいさつ運動、夕暮れコンサートや凧揚げ大会等々さまざまな事業が各部会の努力により実施できました。また、はじめての試みとして関係諸団体に参加していただき、当協議会事業の今後の在り方を考える意見交換会を開催し、活発な議論が交わされました。

さらに、今年3月には東与賀自主防災会本部との連携による防災講演会が「地域でできる防災対策」とのテーマで開催され、「公助」には限界があり、「自助」と共に地域での相互扶助・協力が不可欠であるなど貴重な話を伺うことができました。

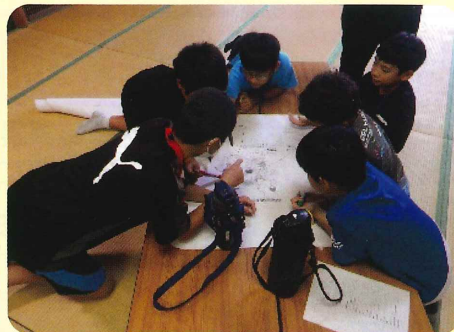
「まちづくり協議会」は校区住民の相互交流と親睦を図り、豊かで住みよい地域づくりを目指して活動を続けています。

今年度もこの目的に沿って協議会が一丸となって各種事業の推進に取り組んでまいります。地域の皆様の今後なお一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

安全・安心部会「安全・安心で元気に楽しく暮らすまち」

部会長：内田 好秋
副部会長：松尾 美鈴

安全・安心部会では「安全・安心で元気に暮らすまち」を目標に、今年度も夜間などにおける安全や防犯のため、町内一円の見守り・点検活動を実施し、危険区域の把握とその改善を図ります。また、校区内自主防災本部と連携し、防災教育の推進による単位自治会における自主防災組織の設立促進に協力します。この一環として公民館との連携により、8月5日(火)～6日(水)に農村環境改善センターにおいて、「子ども防災キャンプ」を1泊2日で開催しました。小学生12名の参加があり、簡易トイレや防災リュックづくり、雲づくり体験、ロープワークなどに挑戦してくれました。全員で助け合って防災食を作って一緒に食べ、食後には花火を楽しむなど防災教育や防災意識の普及啓発などに役立ったことはもちろん夏休みの思い出作りにもつながったと思います。



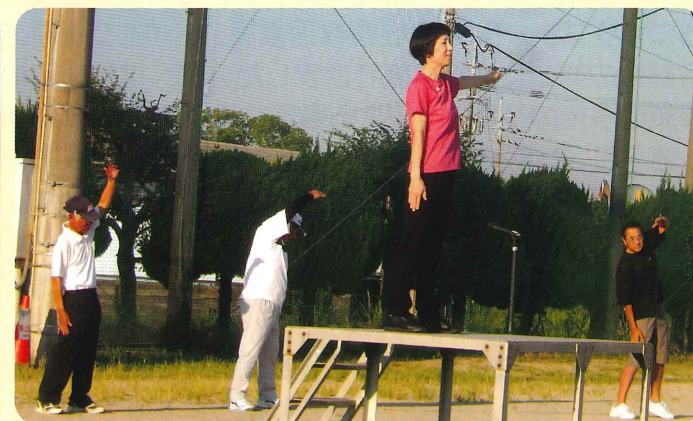
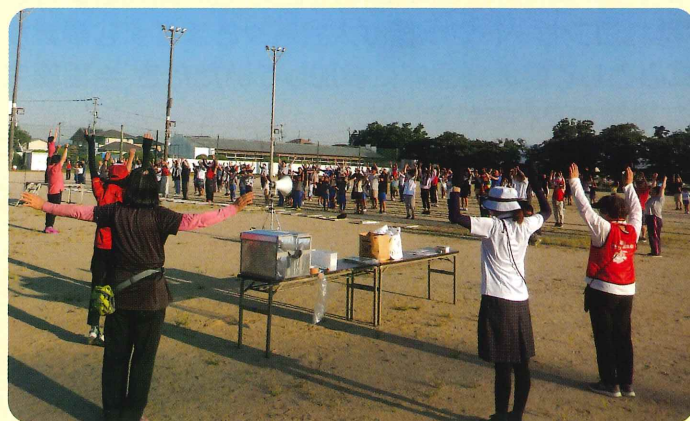
健康・福祉部会「元気・笑顔あふれるまち」

部会長：坂井 満
副部会長：田中 美小夜

オレンジ・ランプを上映

健康・福祉部会では、「家族や地域がお互いに支え合い、元気で安心して暮らせるまちづくり」及び「健康の維持・増進や生きがいづくり、長寿を支えるまちづくり」を目標に、地域住民の皆様の健康増進と福祉の向上のための様々な活動に取り組んでいます。8月2日(土)にラジオ体操会が指導員の資格を持つ松永貴子さん指導の下、開催されました。300名にも及ぶ多くの地域住民の方が参加され、当部会から参加賞の健康食品の提供などの支援を行ったところです。また、認知症の方への理解を深める一環として、10月13日(月)に昼間と夕方の2回、若年性アルツハイマー病になった方の実話をもとに描く、やさしさ、そして希望と再生の物語である「オレンジ・ランプ」を、東与賀文化ホールふれあい館において上映しました。認知症の方が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるよう、また、誰もが住みやすい町となるよう一緒に考える機会としてとらえていただければとの思いで行ったものです。

今後も、健康の基本である食の大切さを知っていただくため、「健康料理教室」や「福祉フォーラム」の開催も計画しています。皆さんの積極的なご参加・御協力をお願いします。



子どもの育成部会「子どもの明るい声が響くまち」

部会長：山田 邦雄
副部会長：小路丸 正安

東与賀小5年生が田植え体験

今年度の子どもの育成部会は、児童生徒を中心にした「米づくり体験事業」、「干潟体験学習会」を実施します。「米づくり体験事業」は、6月27日(金)に小学5年生約70名がJA青年部の皆さんの指導を受け、田植え体験をしました。初めて田植えを経験した子ども達がほとんどで、田んぼに入るのも初めての様子。はしゃぎながら楽しんでいるようにも見受けられました。田植えの後には、JA青年部の皆さんに水の管理や農薬散布などもしていただきました。近年の猛暑の影響が気になりますが、順調に育ってくれることを願っています。そして10月下旬には稲刈りをし、11月1日(土)のシチメンソウ祭りで販売する予定です。

また、「干潟体験学習会」については、中学1年生は10月9日(木)に行い、干潟の生きものや飛来する野鳥についての学習を深めました。小学5年生は11月20日(木)に予定しており、このような活動を通して東与賀の宝である干潟に興味を持ってけると嬉しいです。



自然・環境部会「四季が見える自然の宝を守るまち」

部会長：富吉 玉恵
副部会長：北村 守

コスモスの種まき

自然・環境部会では、地元東与賀の豊かな自然と環境を守るための活動に取り組んでいます。今年度の主な活動として、干潟周辺の清掃活動や「コスモスを咲かせよう活動」、また、子どもの育成部会と合同で東与賀小・中学生による東よか干潟体験学習への協力なども行っています。

8月25日(月)には、「シチメンソウを育てる会」のメンバーと一緒に東与賀海岸の案内板そばの圃場でコスモスの種まきを行いました。この活動は「バルーンフェスタ」に合わせ、シチメンソウが見ごろの時期に開催される、「シチメンソウ祭り」に国内外から来町される多くの皆様のおもてなしの一環としてコスモスも楽しんでもらおうとの思いで実施しているものです。更に、今年度は新たにこのコスモス畑に案山子を飾ることに取り組んでいます。



人のつながり部会「結(つながり)・ふれあいがあるまち」

部会長：碓 和博
副部会長：吉田 浩子

今年度の「人のつながり部会」は、昨年度の活動を継続しつつ、地域におけるコミュニケーションの充実を図るため、3つの活動をしていきます。

- 1 他の部会や関係団体と協力して、ラジオ体操会、シチメンソウまつりなどで「あいさつ運動」を展開します。

8月2日(土)の東与賀運動公園でのラジオ体操会の際には、部会員が参加者に「おはようございます」と声をかけると、参加者の方々から元気に「おはようございます!」とあいさつが返ってきました。



朝早くから皆さんお疲れ様でした!

- 2 ラムサール条約登録関係事業に呼応した「東与賀海岸清掃活動」などの環境保全活動に取り組みます。地域の自然環境を守るため、各種団体と連携し、東与賀海岸の清掃活動などに参加する予定です。
- 3 新しい交流の場、人との結(つながり)の場をつくっていきます。
まだ試行錯誤の段階ですが、地域のコミュニケーション充実のため、関係団体の横のつながりを重視することに取り組み、地域の人たちとの交流の場をつくっていきたいと考えています。

地域の活性化部会「人が集まり交流が盛んで活気あふれるまち」

部会長：山田 和由
副部会長：石丸 幸子

夕暮れコンサートを開催

「地域の活性化部会」は「人が集まり交流がさかんで活気あふれるまち」を目指し、地域に活力をもたらすことができるようさまざまな活動に取り組んでいます。

9月28日(日)には、「ひがさす」広場で「夕暮れコンサート」を開催しました。10周年を記念して参加者全員にペンライトを配付。開催当日まで雨を心配していましたが、天気は持ち直し、音楽の響きとペンライトの光で盛会な音楽会を楽しむことができました。

このコンサートは2015年に「東よか干潟」が湿地の保全と賢明な利用を目的とした国際条約である「ラムサール条約」に登録されたことを記念して始まりました。今回の入場者は例年の200人を超え、干潟を守る広がりを感じさせるものでした。

来年2月15日(日)には、新春親子凧あげ大会(10回目)を開催します。凧作り教室は、その前週2月7日(土)にヒガサス研修室を予定しています。

